

令和9年度 認定こども園概要（令和8年10月1日の照会に基づく）

認定こども園名称		認定マザーズ・ばんすいこども園			
ホームページ		https://mother-s.jp/bansui/			
所在地・問合せ先		〒980-0821 仙台市青葉区春日町5ー26 TEL: 022-223-2341			

特別支援教育・保育			受入れの可否	応相談	
			方 針	・体験保育及び面接を実施し、入園の可否を決定します。	
保育料等費用	無償化対象	保育料(月額)	1号認定児は満3歳児から、2号認定児は3歳児クラスから、全額無償となります。また、3号認定児は市町村民税非課税世帯、生活保護世帯、里親世帯、第2子以降の児童の場合、全額無償となります。		
	無償化対象外(※1)	入園時に必要な費用	【1号認定】入園料(施設設備充実費・教員充実費)	10,000 円	
			スポーツ振興センター共済金	年額300 円	
			園帽子	2,200 円	
		その他月額費用	【1.2号認定】給食費(主食)	月額1,500 円	
			【1号認定】給食費(副食)/【2号認定】給食費(副食)	月額5,500/月額6,500 円	
			【2.3号認定】システム使用料及び管理費	月額1,500 円	
			【2号認定】教育充実費(3歳以上児)	月額1,500 円	
			体操着:下 (3歳以上児)	2,200 円	
	その他費用	コット(レンタルベッド代)午睡時使用	年額2,400 円		
紙おむつ処理代(選択制)		年額4,800 円			
預かり保育(1号認定)	早朝預かり	実施日・時間・1日の預かり人数上限	月曜日～金曜日 7時～9時		
		料 金(※2)	400円/日額		
	通常日預かり	実施日・時間・1日の預かり人数上限	月曜日～金曜日 13時～18時		
		料 金(※2)	500円/日額 ※月の利用合計額が10,000円を超える場合は、利用回数に関わらず請求額は10,000円とする。(早朝・通常預かり利用が対象)		
	休業日預かり	実施日・時間・1日の預かり人数上限	長期休業日 9時～18時		
		料 金(※2)	1,200円/日額(給食費、おやつ込み)		
	実施しない日	日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)、行事の土曜日(運動会など)			
	新入園児の入園式前の利用(4月1日から)	否			
	卒園児の卒園式後の利用(3月末まで)	可			
長期休業日期间は、休業日預かり保育となります					
延長保育(2・3号認定)		実施日・時間・料金受入可能年齢/月齢	月曜日から金曜日 【標準時間認定】18時～19時まで 月額3,000円 ※1歳児クラスから利用可 【短時間認定】7時～8時30分 16時30分～18時 3歳以上児 月額400円 3歳未満児 月額1,000円		
◆◆保育料等の無償化について◆◆ 以下は制度に関する一般的な説明であり、当園における実施内容を示すものではありません。 ※1 実費として徴収される費用(通園送迎費、食材料費、行事費等)は、無償化の対象になりません。 ただし、年収360万円未満相当の世帯の児童と第3子以降の児童は、3歳児クラスから副食(おかず、おやつ等)費用の減免制度があります。 ※2 1号認定児の預かり保育の利用料は、施設等利用給付認定(新2号・新3号)又は多子世帯利用給付認定を受けた児童を対象に、利用日数に応じて日額490円(3～5歳児クラスは月額上限12,300円、満3歳児は月額上限17,700円)まで無償となります。 なお、2・3号認定児の延長保育料は、無償化の対象外です。 詳細は、仙台市ホームページをご覧ください。 「幼児教育・保育の無償化について」 https://www.city.sendai.jp/nintechosa/mushouka_gaiyou.html 「第2子以降の保育料無償化について」 https://www.city.sendai.jp/nintechosa/kurashi/kenkotofukushi/kosodate/hoikuryo_r08.html					

児童の安全確保に向けた取り組み	・通常の毎月実施する訓練の他、年に1回大きな防災訓練を行っている ・絵本、紙芝居、DVD等を用いて子ども達の防災・防犯教育を行っている					
卒園児の通う主な小学校	立町小学校・木町通小学校・上杉山通小学校					
職員の状況	施設長	1名	保育教諭	14名	保健師・看護師	1名
	栄養士	1名	調理員・用務員	4名	事務員	1名
	バス運転手		清掃員		合計	22名
乳児保育事業	実施の有無	あり				
	乳児受入月齢	生後2ヶ月児から				
	乳児保育に関する特記事項					
園庭遊具	・可動式鉄棒3台　・ジャングル高低台					
その他 (特色等)	・「伝承あそび」「ファーム活動」「はだし保育」「自ら考えて選択する活動」「異年齢児保育」を取り入れることで、子どもの自発性を育て、自然との関わりや表現活動の体験により豊かな心を育む。 ・様々な人間関係の中から社会への適応能力を学び、活動を通して基本的な生活習慣の土台ともいえる「食事」「睡眠」「運動(活動)」の生きる力の基礎を育てる。 ・3歳以上児対象に、運動教室、工作教室、英語リミック、茶道教室等を実施しています。(令和8年度実績内容)					